

OPINION

中部経済新聞

メキシコはNAFTA(北米自由貿易協定)を経済開発戦略の基盤と見る。米国輸出に大きく依存し、経済成長には貿易安定が不可欠だと。その結果メキシコは市場参入権を維持し、自国競争力を損なう要求には抵抗する目標で再交渉に臨んだ。

ナビゲーター

現在の再交渉における最大の課題の一つは、労働基準と賃金に関するものである。メキシコ労働者の賃金は米国よりも大幅に低く、これが不正な競争上の優位性だと、米当局が見なしていた。米国の労働組合や政策立案者たちは、メキシコの低賃金が米国

日本への期待
世界各地から

178

企業に国境南側への工場移転を促すとする。これが米国での雇用喪失になり、労働者の保護を弱体化させたとする。結果として、米国はさらに強力な労働条件と、その遵守のための枠組みを求めた。他方メキシコは労働条件の急激な引き上げは、外国人投資家への魅力低下とニアショアリングの利点が損なわれるとする。米国要求の一部は、国内労働政策への干渉だと見なしてきた。それでも大統領府は最終的に、団体交渉権強化や労働組合の透明性向上に向けた措置と最低賃金の引き

北米3カ国経済動向 「フェアプレー」を

メキシコから (2)

上げを含む、大規模な労働改革に合意した。労働問題は交渉で最も争点となったものの一つだが、経済発展や国家主権というより広範な問題でもあった。米国は賃金格差是正を求め、メキシコは国際競争力を維持したいと考えた。

自動車産業もまた紛争の一大要因だった。自動車産業は北米で最も統合が進む分野で、生産途中に部品が国境を何度も越えることがある。NAFTAでは、車両構成部品の62.5%が北米産であれば、関税免除となっていた。米国は域内生産をさらに促進、中ば、地域サプライチェーンに国などからの輸入依存度を低減させようと、原産地規制の厳格化を提案した。加えて、自動車構成部品の相当割合を、最低時給16ドル以上の労働者が生産するよう義務つける要求をした。メキシコ製造業の平均賃金はこれよりずっと低く、この提案は大きな論点となっている。

競争は不正だと、米国民はより強力な貿易救済措置と保護を求めた。農産物輸出は国際貿易ルールに準拠し、制限措置は自由貿易の恩恵を損なうとメキシコ側は主張、米国の提案に抵抗した。両国消費者は手頃な価格の農産物を年中入手でき恩恵を受けていると強調した。意見の相違は国内の政治的圧力と、自由貿易がもたらす幅広い経済的利益とのバランスを取る困難さを際立たせた。農業は争点の核ではなかったが、緊張の要因であり続けている。

【フーマン・ウルフ(UNAM・メキシコ国立自治大学教授、リーム中産連) (月曜日に掲載)